

磐田市・駒ケ根市 友好都市提携 50 周年記念式典に行ってきました

7月30日（日）31日（月）、本年は駒ケ根市と磐田市は友好都市提携を結んで50年の記念すべき年だとのことで行ってまいりました。見付天神の悉平太郎伝説と光前寺の早太郎伝説が結びついて、行政のみならず、自治会や民間にも広がっていつしか50周年となりました。

議員の交流は2年ごとに行っています。改選があった方が相手方に行くことになっており、今年には磐田市から駒ケ根市に向かったものです。2年後には駒ケ根市議員が磐田に見えることとなります。



駒ケ根市の花「すいせん」と磐田市の花「ツツジ」を埋め込んだガラス細工を贈呈
(新造形創造館制作)



両市議員の対面式から始まりました。増田議長と加治木議長が記念品の交換を行い、歓迎の挨拶、議員の自己紹介へと進みました。

場所を変えての記念式典にては、杉本幸治市長から、友好都市提携がされたいきさつの説明がありました。防災の視察で磐田市に



きて悉平伝説を知り、早太郎との結びつきから提携へと進んだとのこと。

初めてです「絹の花」 (姉妹提携ではないですよ)

アトラクションの「零犬早太郎」に感激

この50周年記念のために制作された劇。3ヶ月だけの練習で今日を迎えたという。間に新たな創作も加わり、感動一杯でありました。「この公演を磐田でも」と思ったのは私ばかりではありませんでした。



磐田市からベンチ・ツツジを寄贈

記念式典に先立ち、文化会館前公園で磐田市から寄贈するベンチの除幕式が行われました。駒ケ根市の「こまがっば」と「しっぺい」がデザインされており、見るからに楽しいベンチであります。

その後、3本のツツジの苗木が両市長・教育長らで記念植樹をして、両市の友好をより見えるカタチにしたものでした。



4月8日 静岡新聞

長野・駒ケ根市に 友好のベンチ寄贈

磐田市は30日、長野市と磐田市の友好都市提携50周年を記念に、両市のイメージキャラクター「こまがっば」と「しっぺい」をデザインしたベンチと磐田市の木「ツツジ」を駒ケ根市に寄贈した。

①両市のイメージキャラクターが立ち会い除幕されたベンチのツツジを記念植樹した両市の市長・長野県駒ケ根市

渡部修市長と駒ケ根市の杉本幸治市長、両市の議員代表らが駒ケ根市中心部の公園で寄贈式に臨み、ツツジの苗木3本を記念植樹した。同公園内に設置されたベンチは長さ約2

磐田市の「しっぺい」で駒ケ根市の「こまがっば」をかたどった石像を両端に配した。続いて開かれた50周年記念式典で、両市長は今後のさらなる連携促進に意欲を示した。両市は、怪物を退治した犬「悉平（しっぺい）太郎」の伝説ゆかりの地であることが縁で1967年に友好都市提携を締結。文化・スポーツ団体が双方の市のイベントに参加するほか、樹木を寄贈し合うなど、官民での交流活動が続く。